

密苗の箱剤施用は側条施薬機の効果が高い！

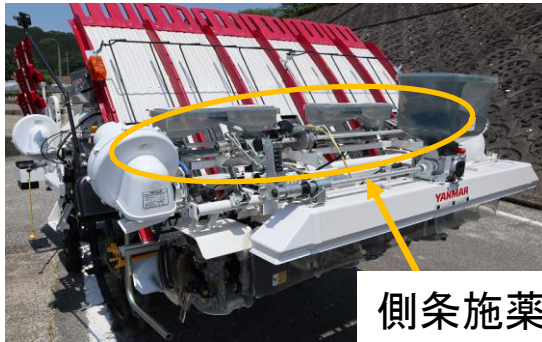
農林水産研究所

「密苗」(高密度播種苗)は、田植えに使う苗箱数を1/3(約6枚/10a)にする省力・低コスト技術です。

密苗で箱剤を育苗箱に施用する場合、1株当たりの施用量が少なくなり、本田での薬効が低下する可能性があります。そこで、田植同時施用の「側条施薬機」の有効性を検証しました。

側条施薬機による箱剤施用

- 側条施薬機で株元に箱剤を慣行栽培と同量施用できる
- 「側条施用(1kg/10a)」の登録がある箱剤を使用する



側条施薬機



側条施薬

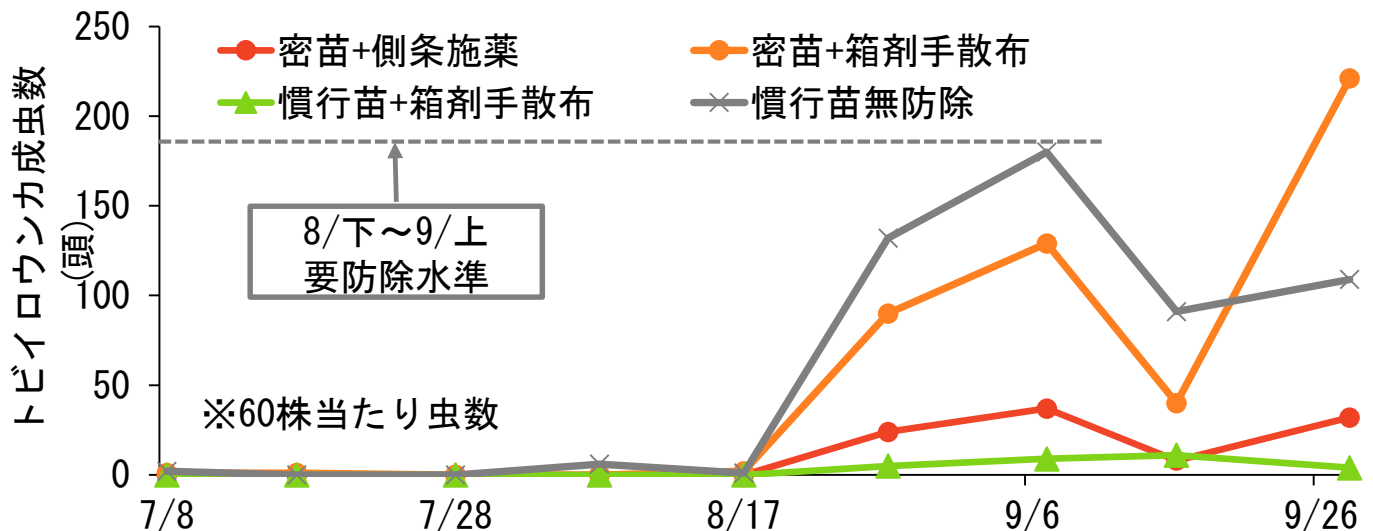


図 トビイロウンカの発生数の推移(2020年)

※2020/6/8植 箱剤剤:ビルダーフェルテラゼクサロン粒剤

施薬量:密苗+側条施薬839g、密苗+箱剤手散布285g、慣行苗+箱剤手散布835g/10a

使用苗箱数:密苗 5.7枚/10a、慣行苗 16.7枚/10a

密苗+側条施薬のトビイロウンカ発生数は、慣行苗+箱剤手散布より同等~やや多くなりましたが、密苗+箱剤手散布と比べると、発生を約1/4におさえることができました。